

2014年11月8日(土)

## 岩櫃山(802m)

上州の岩峰「岩櫃山」に参加は岡部さん夫妻、川島さん、布目さん、堀さん、熊本の6名



高崎駅から 9:12 発の吾妻線「草津長野原」行の列車で 6 名全員が合流した。  
今年初参加の岡部旦那は、「忘年会は毎回参加で山には一回は行かなくちゃ！」と奥様の説得で参加。  
岡部旦那の会話で皆さん大盛り上がりだった。



車窓右から赤城山、青空一杯に広がっている。



車窓左から榛名山



高崎から約 1 時間で、10:08 目的地「郷原駅」に到着。  
無人駅で、且つ SUICA は使えなく、誰かは言えないが、大儲けした人がいた。  
ここで出発準備を整え、駅からハイクの始まり。  
上空は青空が広がり、東京が厚い雨雲に覆われていたのとは、大違いであった。





郷原駅の案内板の上に岩櫃山の岩峰が覗く。



駅を出て左に折れ、線路を渡り、左折して進む（10:24）。



暫く、岩櫃山を左から巻くように舗装道路を行く。





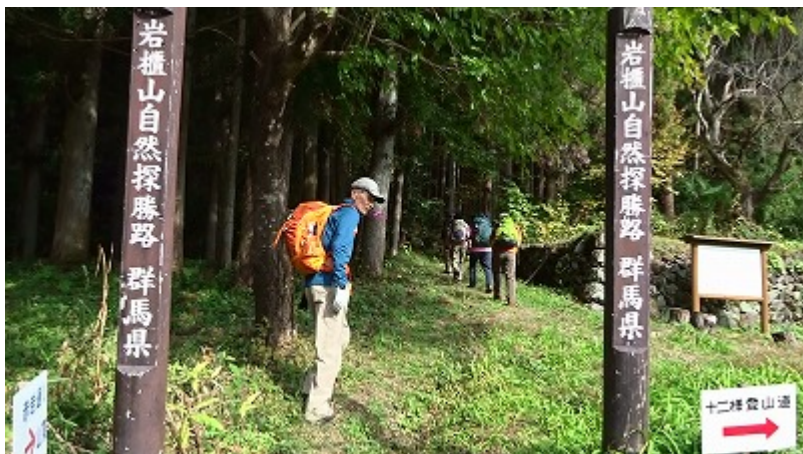
岩櫃山の全体像が見え始める。  
垂直の岩峰が天に向かって屹立している。  
この岩峰の先端に立つことが出来るのか心配になる。



駅から 20 分程で、古谷十字路に着き、  
「赤岩通り」の標識があり、右に折れる。  
街道至るところに、6 文銭の下に大きく  
「岩櫃」と書かれた旗があった。  
どうやら 2016 年に始まる NHK  
大河ドラマの「真田幸村」ゆかりの地らしい。



「赤岩通り」登山口に到着 (10:50)。  
歩き始める前に、岡部さんから芋スイーツが差入れがあり、美味しく頂く。



10:55 に、イヨイヨ、赤岩通りの登山道に入る。

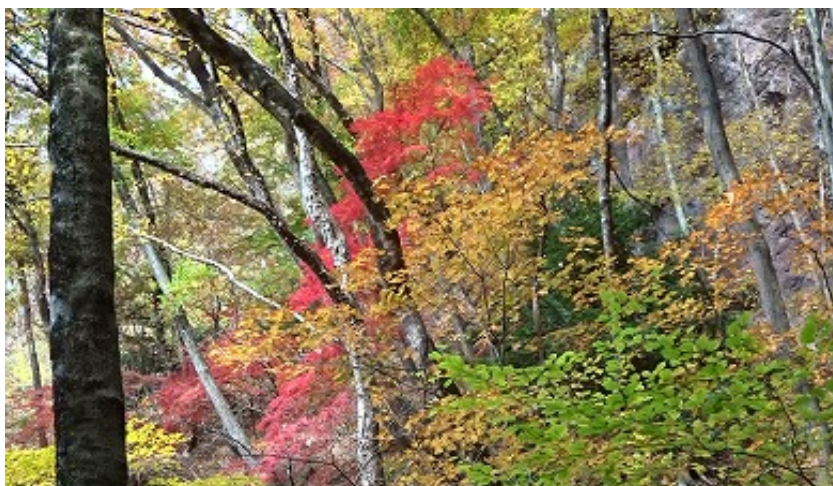




暫く階段状の急登が続く。



10分程登るとモミジの赤く染まった紅葉が出始める。



ダケカンバの黄葉に赤く紅葉したモミジが映える。



徐々に傾斜がきつくなり、汗が出始める。





最初の鎖場は 10m 弱の登りで、  
難なくクリアー (11:24)。

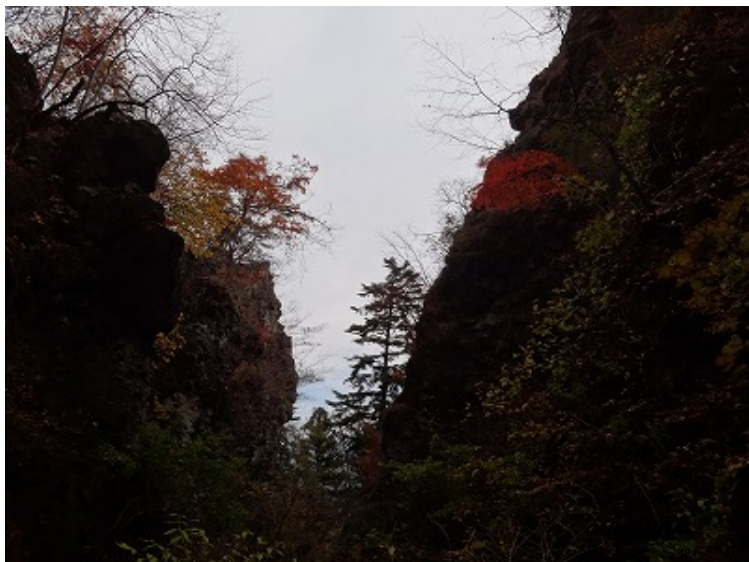


次は、「天狗の蹴上げ岩」の鉄バシゴを登  
る (11:31)。



大きな岩塊に挟まれた狭い登山道を抜け  
ていく。





岩峰と岩峰の間に紅葉したモミジ張り出している。

(11:37)



紅葉を見上げ一息つく。



大きな石塊を乗り越えていくと、七合目に到着した。(11:40)



八合目を目指し急登を頑張って取りつく。





もう少しで八合目だ。



11:40 八合目に到着、見晴が良い。



九合目の岩峰に立つ（11:52）。



九合目の岩峰から岩櫃山（802m）が正面に見える。

山頂は数人程度しか立てないようだ。

山頂までは 20m ほどの垂直の壁、鎖場をクリアしなければならない。





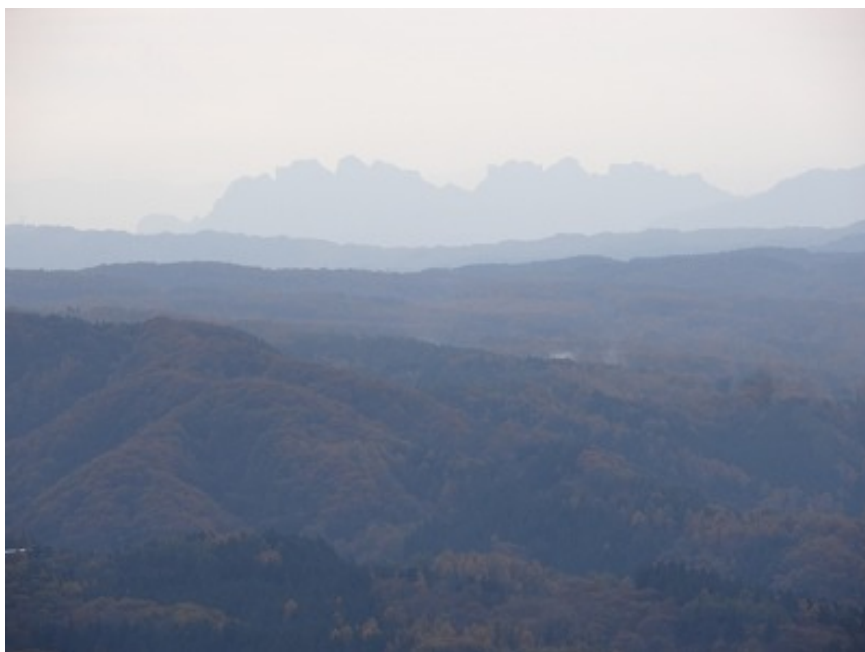
20m の垂直の壁に取りつく







全員、登頂を果たし、12:10 岩櫃山（802m）の山頂で記念写真を撮る。



山頂からは 360 度の展望で、特徴あるギザギザ岩峰の妙義山が近くに見えた。



山頂から 360 度の展望を楽しんでから、垂直の壁を下山。  
足元が見えないだけ、登りよりもスリルがある。

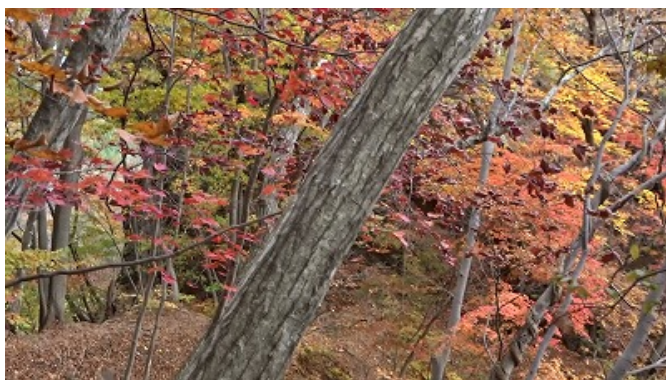
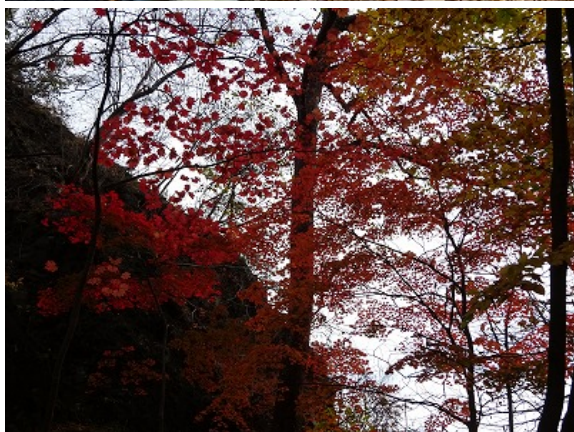




山頂を極めて 12:40 に遅い昼食を採る。

女性陣が多種の美味しいおかずを持ってきてくれた。ごちそう様！

これからの下りは、鎖場はなく、紅葉を楽しみながら下山した。



七合目から「岩櫃城本丸跡」へのルート（尾根通り）を取る。

途中「天狗岩」に出会った。

天狗の顔に似ているらしい。その前で写真。(13:30)





13:37 岩櫃城本丸跡に到着、遺跡の発掘だろうか何ヵ所か掘り返していた。  
2016 年の大河ドラマに触発され、発掘に拍車が掛かったのかもしれない。



登山口から東京電力管轄の貯水池に出てしまい、どうやら群馬原町駅へのコースを間違えたいらしい。  
しかし、直ぐ右手下には民家が見えておりそのまま下る。

14:12 に登山道から一般道にやっと出て「岩櫃城温泉」の標識に出合ホットする。



14:17 岩櫃城温泉「くつろぎの館」に到着。

町営で 3 時間 400 円と安い。





温泉で汗を流し、早速、生ビールで、  
本日の岩峰鎖場、制覇に乾杯！！

大広間は殆ど客がいなく、町営とはいえ採算を心配してしまうくらいだ。

終日の晴天に恵まれ、802m の低山ではありましたが、鋭く屹立した岩峰の山で、多数の岩場、鎖場の繰り返しで、スリル一杯の登山で楽しめました。